

広報 なかがしま 7月号



愛の血液助け合い運動

献血の輪を広げよう

わたしたちの体は、血液がなくては、その生命を維持することができません。といって、いざというとき、人工的に血液を作り出せるかという点、もちろん答えは「ノー」です。手術や治療に欠かせない輸血用血液のすべては、献血に頼らなければなりません。

一年のうちで、最も輸血用血液が不足するのは、夏場です。山や海などヘレジャーに出かける機会も多く、帰省する人々もあつて、事業所や町ぐるみの団体献血が大変少なくなり、献血が減ってしまふのです。

一方、輸血が必要なことは、夏場であつてもふだんどほとんどかわりなく、このため手術を延期しなければならぬ事態も過去に発生しています。

輸血といえば、かつては血液を「丸ごと」輸血していましたが、今日では、輸血の効果を高めるために赤血球、血小板、血しょうなど成分単位に分離して、それぞれを別々の患者さんに使うようになっています。そして、採血、検査、分離は、一日で行なわなくてはならず、その上、保存があまりききません。患者さんの生命を救うには、あなたの献血が頼りです。

七月は「愛の血液助け合い運動月間」です。「血液の助け合い」にあなたも参加しましょう。

献血移動車

7月23日(木曜日)

〔長浜町体育館〕9時～12時〔出
海公民館〕13時30分～14時30分〔農
協榊生支所〕14時40分～15時40分

議 会



議 会 第1回臨時会

長浜町議会第一回臨時会が、五月二十七日に開かれ、長浜町税条例の一部改正案、補正予算案など、上程された町提出の十議案と議会提出の五報告案件の審議を行ない、議案については原案通り可決、報告案件も受理採択されました。可決および受理採択されたもののうち、おもなものの内容は次の通りです。

国保税の改正

課税限度は26万円

国民健康保険税条例の一部が改正されました。それによると五十六年度分から①保険税の最高限度額二十四万円を二十六万円に②低所得者の負担軽減措置として、被保険者一人当たりの軽減加算額十七万円を十七万五千円に③所得割税率百分の六・〇を百分の七・〇に④世帯別平等割額一万六千円を一万八千円に⑤被保険者均等割額一万円を一万一千五百円に改められました。

町税条例の一部改正

月割課税・還付制度を廃止

長浜町税条例の一部が改正されました。それによると①個人町民税の非課税範囲のうち、均等割の非課税対象となる控除対象者および扶養

今回は、現在までに確定し、実施しなければならぬ事業を計上したもので、おもな使いみちは、町民運動場の整備費、櫛生漁港護岸工事費、櫛生漁港災害復旧工事費などです。

今年度直診会計に 繰上充用金を補正

国民健康保険直営診療所特別会計は、繰上充用金二千四百万円が補正され、当会計の予算総額は三千三百六十八万九千円となりました。

財政調整基金に 三千万円

55年度一般会計補正

昭和五十五年度の一般会計予算に、今回六百四十六万九千円が補正されました。

今回の補正は専決処分したもので、おもな使いみちは、青島海運有限会社へ交付する補助金不足分百五十一万円、特別対策措置児童が増加したため、不足する委託料二百十九万四千円、簡易水道事業特別会計への繰出金二百三十九万一千円、財政調整基金積立金に三千万円などです。

町民運動場用地 の整備費など

56年度一般会計補正

昭和五十六年度の一般会計予算に、今回三千二百三十七万二千円が補正されました。

二件の陳情書を 受理採択

出海小・中学校PTA会長石山豊氏から「出海小・中学校敷地購

入について、長浜町商工会会長松田弥生氏から「二次開発事業の推進について」、長浜町青果農業協同組合組合長理事一宮泰忠氏から、第二次開発事業の推進について、町議会各議員あてに提出されていた陳情文書は受理採択され、ただちに町理事者に送付して、その主旨に沿うよう、善処を求めることになりました。

二宮教育長が辞職

五月二十七日開かれた第一回臨時議会で、二宮義徳教育長(五四)が辞表を提出し、受理されました。

長浜小学校プールなど 請負契約三件承認

次の通り、昭和五十六年度事業の請負契約を締結することが承認されました。

喜多漁漁港改修工事を三千五百万円で長浜の有限会社長浜建設と、町道本町線舗装新設工事を四千四百八十万円、長浜小学校プール新築工事を六千八百万円で大洲市の株式会社西田興産と請負契約を結ぶことになりました。

高齢者コミュニティー センターの使用 について

〔使用できる方〕
原則として町内に住んでおられる満六十歳以上のお年寄りの方や障害者の方です。
〔使用時間〕

平日は午前八時三十分から午後五時まで、土曜日は正午まで、日曜、祝日は休館を原則とします。なお、機能回復訓練室もありますのでお気軽におこしください。また、大ホールを使用される場合は、福祉関係の団体も受け付けますので住民課へ申し込んでくださいます。

区長会役員会

昭和五十六年度と五十七年度の任期二年間を担当する町内の各区長が出そろった長浜町区長会では、さる五月八日に役員会(支部選出の理事で構成)を開いて、会長、副会長など五役の選出を行いました。

明関氏、城戸岡氏は再選 副会長には津田氏、有友氏を新任

その結果、会長には明関定市氏(二十一区長)を再選。副会長には新しく津田忠士氏(六十二区長)と有友忠憲氏(七十九区長)を選任。また事務局長には城戸岡政雄氏(二十七区長)、会計には丸山米三郎氏(三十三区長)を再選。監事には新しく山根養一氏(六十一区長)と木村宗一氏(八十八区長)を選任しました。これにともない、区長会の新しい役員が決まりました。

区長会

生活に密着した
支部要望

回答は七月役員会で

町では、地区のみなさんから新しく選出された各区長さんに、五月二十日、町体育館に集まっていたいて、五十六年度区長会を開きました。

はじめに、各区長さんに委嘱状を交付し、つづいて二宮町長のあいさつ、各課長の紹介を行なったあと、明関区長会長から町に対する要望事項の発表、各支部長から要望文書の提出がありました。

①国道三七八号線の早期整備促進について②第二次開発事業の促進について③脇川流域の清掃美化について。

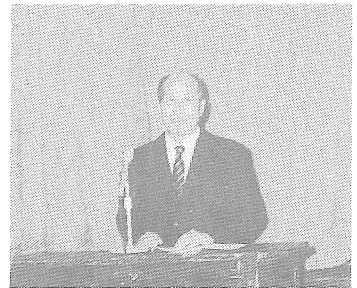
各支部要望は、長浜七件、今坊五件、櫛生二件、出海五件、大和五件、豊茂四件、白滝三件、合わせて三十一件でした。

この要望に対する町の回答は、七月に開く予定の役員会で、文書で行なうことになっています。

区長会総会

保健・環境衛生思想の普及など四
目標決める

区長会の昭和五十六年度総会は、



再選された明関会長

区長会終了後引き続き開かれ、今年度の予算や努力目標など原案どおり承認しました。それによると、五十六年度運営費予算は、六十一万三千二百八十二円で、前年度より三百八万五千四百円少なくなっています。この減額の原因は前年度は研修旅行を実施するため

の経費が計上されてきましたが、今年度はこれを行なわないためです。

また、区長会努力目標には、次の四件がかかげられました。

●町財政の基盤をなす町税のほか、有線・上水道使用料、国民年金保険料などの完納達成のため、地区組織の強化を図るとともに、完納意欲の向上に努める。

●脇川上流において、清掃美化を推進するよう、関係町村に強く要請する。

●町民全体が、健康で豊かな美しい町づくりに参加できるよう、衛生思想の普及と啓もうに努める。

●正しい歩行、正しい運転により、町内から交通事故ゼロ、犠牲者の絶無に努力する。

町民登壇

学生のとき泳いだ広いきれいな長浜の海が大好きで、いつか海の見える町で住んで見たいなあと憧れていた私が、縁あってこの長浜に嫁いでもう十年余りになりました。

田舎で育った私は、町での生活や商売に戸惑うばかりで、失敗してお客様にご迷惑をかけることが多く、「失敗は成功のもと」と心に言い聞かせながらも、ついつい里が恋しくなり、たびたび足がむいて憧れていた海の景色など目にも入りませんでした。が、今では二人の子の母となり、町内の皆さんとの生活にも慣れて、やっこの町に根をおろしつつあるのだなあと感じていきます。

みんなで力を合わせて
いつまでも続け青いきれいな海



米田 治子 (34歳) 長浜・商業

私の店は小さな菓子店ですが、暇なときもあれば、また盆とか正月にはとても忙しく、お客様の意にそえなくて申し訳なく思うこともあります。

特に最近では、大型店進出や新しい店ができ、私の店だけでなく、どんな商売でも難しくなっています。

この頃では里への足も遠のき、かえって里の方から出向いて来て、一緒に潮の香りのする浜辺でお弁当をひらけることもあります。皆が喜んで海辺で遊び、波とたわむれている姿を見ていると、海の青さが一層美しく、何もかも忘れて、この町へ来て本当に良かったなあと思えます。

激動する今の時代を乗り切るためには、皆様の温かいお力添えが必要です。町民が皆んなで力を合わせてこそ楽しい住みよい町ができ、そしていつまでもきれいな海が保たれるのではないのでしょうか。

今年もまた夏がやってきました。昨年は残念ながら使えなかった沖浦海水浴場も、今年の夏は使えるとの様子。真黒に日焼けした大勢の人々の、元気で楽しそうな姿が見られ、明るく住みよい町で、青いきれいな海がいつまでも続くよう願っています。

長浜町区長会役員

役職名	氏名	(区)
会長	明関 定市	(21)
副会長	津田 忠士	(62)
今坊支部長	有友 忠憲	(79)
櫛生支部長	城戸岡政雄	(27)
事務局長	丸山米三郎	(33)
会計	頼永 啓文	(25)
理事	高坂豊吉郎	(4)
長浜支部長	吉岡 重則	(8)
〃	金沢 栄次	(18)
〃	島田梅次郎	(31)
〃	石田 忠勝	(45)
〃	藤瀨季志叔	(46)
〃	木之本安正	(56)
〃	東 春秀	(64)
〃	森口 宗幸	(75)
〃	沢井 彦一	(83)
〃	本田伊勢生	(86)
理事	平井 源一	(89)
出海支部長	垣内 筆雄	(92)
理事	叶 義章	(103)
大和支部長	稲田 賢敏	(95)
理事	丸又 洗	(114)
理事	松田 宣昭	(115)
理事	坂井弥八郎	(146)
理事	平井 豊秋	(123)
理事	森 謙	(125)
理事	蔵田 敏雄	(132)
理事	山根 養一	(61)
監事	木村 宗一	(88)

憩の島、観光の島として

海洋博物館の建設を

伊予灘にポツンと浮かぶ青島は、長浜町の唯一の島で、なくてはならない漁場です。この島では漁業のかたわら農業を営む約百人の人達が生活しています。

この島の歴史は、今から三百年前に始まり、当時は無人島でした。寛永三年、大洲藩がこの島を馬の放牧地として利用しようとして、馬番を移住させたのが人の住んだ始まりとされています。

しかし、放牧地としては、飲料水等の少ない関係上続かず、それから十年後、寛永十三年、兵庫赤穂郡坂越村の漁業者が、九州方面に出漁中、青島近海で鯛の大群を発見してから、与七郎という人が一族十六家族とともにこの島に移住し、現在の青島となりました。



青島港

開発診断

ところが年々人口が減少し、中学校は昭和四十六年、小学校は昭和五十三年に廃校となり、老人の島と化した青島は、今後このまま漸減す

るのか、あるいは観光の島として活気を取り戻せるか、愛媛大学名誉教授の村上節太郎氏に青島の観光診断を依頼し、その報告書ができましたので概要をお知らせします。

青島の自然景観

青島は長浜港から北方に十三・五キロ、面積四十八畝、周囲四キロ、人口百余人の小島である。伊予灘のほぼ中央に位置し、地質は和泉砂岩からなっている。海抜は西の灯台のある所に三角点があり、そこが九十一・二畝で最も高い。

青島の東端を伊予崎といひ、西端を豊後崎という。伊予崎は、とがっており、先に弁天崎と称する

岩礁があり、昭和五十二年に護岸工事をしてシャワーやトイレをつくり、キャンプ場にした。

青島付近の海図をみると、東西約二千五百畝、南北約二千二百畝の範囲は二十畝より浅い。東端の伊予崎には、釜磯と称する岩礁があり、有名な釣り漁場となっている。

青島の北側約二千畝の地点の海底から泡が湧いているということ聞き調査したが発見できなかった。水深はおよそ六十畝あり、青島から二千畝離れているので、温泉開発は困難であろうと思われる。

伊予灘の孤島青島は、北風と西風が卓越する。一般に秋が長く、春はおそい。西北の季節風のため冬季は、長浜・青島の定期船がおしまし、も年によって三十回程欠航する。

青島には、砂浜海岸の部分は少なく、岩石海岸の部分が多い。東部の弁天崎の埋立地であるキャンプ場付近と波止の外の大瀬の岩付近が海水浴場に適する。

潮流は、満潮のときは西南流、干潮は北流と東流となる。干潮のときは、海底地形の関係で渦を巻いている。釜磯の付近は好漁場で、特に鯛の一本釣りが盛んである。

青島の人文景観

集落と飲料水

青島に現在集落があるのは、遅くとも、赤城の庄屋付近、三軒屋、干ヶ浜、馬の谷、小廻りの地区であり、北西の季節風を防ぐ位置にある。

青島には、飲料水に適した井戸

は少なく、共同井戸には海水が混じっていた。しかし、昭和五十三年五月に離島振興事業で計画された海水の浄化装置と簡易水道が完備してから日常生活には困らなくなった。お盆に数百人が帰省し、キャンプ場で水を乱用すると限界に達する。

青島の文化生活・民俗

僻地と言われる青島も、今では飲料水も確保され、電燈も昼夜灯り、カラーテレビを日夜見ることが出来る。戦前はランブの生活であったが、昭和二十三年九月十日に自家発電の操作を開始した。昭和四十八年八月二十七日、海底ケーブルで地方から電気が導入され、終日電灯がつくようになった。電話は、昭和三十三年八月一日に青島に通じ、昭和四十六年四月二十三日にダイヤル式になった。しかし、現在二回線導入されているものの、漁業組合に一か所あるだけで不便を感じている。

十三勇士の殉難

大正三年一月七日、季節風の強い大時化の朝、広島県の打瀬船が漂流してきた。青島の義侠心のある青年会の若者十三人は、これを救助しようとして向かったが、大時化のため近寄れず、悲惨にも全員遭難した。殉難者十三勇士の墓は、向山の東の共同墓地に葬られている。

昔、青年は年頃になると、自分の家は漁家家が狭いので、大きい網元の家などに夕食後宿泊する慣習があった。青島の青年宿は、庄屋の赤城家と、その分家で網元

の赤穂家と赤松家、のちに播本家と浜井家であった。青年宿は、互いに人間的、人格的修養の場であり、よい意味での競い合う合宿の場でもあった。

今では青年宿もなくなり、盆踊りは婦人が主となり、氏神の祭礼は老人の仕事、興行物の来島も少なく、災害救助をする青年会も消滅し、青年宿の日常生活も見ることができない。

ミニ四国

青島には、ミニ四国八十八か所の石像がある。一番は島の西部で、八十八番が島の東部にある。以前は三月二十一日のお大師様の日には、接待もし賑やかであった。石碑の寄贈者の名前から推定して明治中期のものと思われる。



ミニ四国の石仏

青島の観光資源の開発と対策

青島の自然環境の地形、気候、開発過程、人文景観の集落、宅地、家屋、生活、民俗、年中行事、農業、漁業などについて調査したが、観光資源として次の点が考えられる。

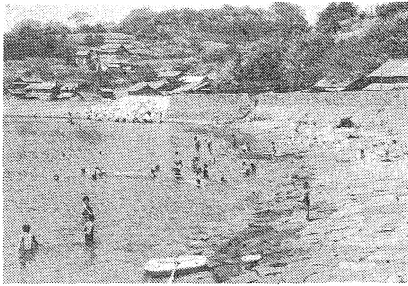
青島の観光

海水浴場と盆踊り

青島は夏型の観光地である。春のタイシバリ網も消滅し、秋のお祭りや島民運動会も地元では楽しいが、わざわざ島外から見にくる人は少ないと思う。

海水浴場は、青島の南や西の波止場の外で、三軒家や青島神社からも近いが、防波堤の下で砂浜が狭く、数百

人しか泳げないのが欠点である。私は、公民館（小学校跡地）を活用し、愛媛県の夏季臨海学校として五十〜百人の小・中学生を収容すれば、ここは恰好の海水浴場として利用できると思う。そのため脱衣場や飛込台くらいは設置



青島海水浴場



四十七士の盆踊り

することが肝要である。

青島のキャンプ場は、島の東部の伊予崎に施設され、シャワーやトイレもある。海岸は砂浜でなく、砂岩礫岩の互層の岩盤がゆるやかに傾斜しており、沖へでると潮流が速い。岩礁があり、北側、南側の海は、初心者には危険であるが、釣りや潮干狩りはできる。また、漁師の好漁場で、釣り舟が朝夕に集まっている。

公民館は、簡易宿泊施設として素泊り一泊五百円で公開しているが、一般にはあまり知られていない。せめて小・中学校の夏休みに山村の学校とタイアップして活用すべきであろう。この施設は、炊事場や運動場があり、海水浴場も比較的近いので、二泊三日か三泊四日の手頃な臨海学校になると思う。山村や都会の子どもたちが自然に親しみ、友達と苦楽を共にし、原始的な農業や漁業を体験し、海水浴で心身を鍛えるのに恰好の道場であり、もつとPRして都会や山村の学校に知ってもらおうことが大切である。

八月十四日、十五日の盆踊りは、県指定の無形文化財であり、観光資源として第一に挙げてよい。お盆には、青島の出身者が墓参を兼ねて帰郷し、人口は平日の二〜三倍にふくれ上がる。しかし、定期船が休航するので島外の観光客は少ない。観光客を招くなら、むしろお盆には定期便を増発するのが常識である。

青島の盆踊りの第一夜は、新亡者の供養と忠臣蔵が特色である。第二夜は、賤ヶ岳や大漁踊りのあと、午後十一時までの自慢カラオケ大会が催される。観光客やのどに自信のある帰省客にとっては、楽しい一夜であり、まさに見る観光から実演する観光である。

遊魚地としての青島

青島へ釣りに来る人は割合に少なく、また、釣り道具を売っている所もなく、遊魚の案内やチラシも見当たらない。

青島に限らず、釣り漁村の住民漁師は、都会の釣り道楽の人々が優れた釣り具を持参し、釣り場を荒らすのを喜ばない。青島の漁師は、観光漁業開発で、観光客が多く来ることを余り望んでいない。

よく釣れるということになれば、釣りブームの今日では、自然に釣り客がやってくる。養殖や釣り堀は風波が強く、入江が少ないので、困難なようである。魚礁をつくり、養殖に力を入れると将来性はある。

臨海学校と海洋博物館

青島には元小学校の校舎を利用した青島公民館があり、その他に市川旅館や民宿「里」がある。海

水浴場も近くであり、燈台や魚群を見る山見台も残っている。島のミニ四国八十八か所もある。山にはミカン等の果物もあり、牛の肥育場もあり、麦や甘藷や馬鈴薯なども栽培している。

しかし、漁村でありながら建て網や蛸壺は見受けるが、昔の網や船や漁具が残っていないのは残念である。

元中学校の校舎が残っているが、放置され荒廃している。町としても一日も早く修理改造して博物館にしてほしいものである。昔、タイ網を経営された赤穂善三郎氏の頌功碑は緑泥片岩で、青島神社の



宿泊施設として利用される公民館

前に建てられている。

青島の観光の目玉として、海洋博物館をつくることを提唱する。元中学校の教室を利用して、一日も早く他町村に捨てられている漁具を集めることである。あとは青島にある建て網や蛸壺など、どのようにして魚や蛸がとれるのか、実物や模型、写真、イラストなどで展示するとよい。また、青島開拓の歴史年表なども、写真や地図

やイラストで如実に示し、愛媛の水産業が勉強できるセンターにしてほしい。

原始的農業と空家の利用

青島の農業は、昔ながらの段々畑でイモとムギを昔の農具で作り、下肥を利用するところに特色がある。畑を放置している所もある。で、都市の子供が一日百姓で、春や秋に来島して耕作栽培して、収穫に来るのも採算を度外視してやれば意義があるものと思う。

青島には空き屋が多く、漁師の家とともに、昔ながらの質素な服装をした人形も展示するとよい。青年宿の有様も再現すると面白いと思う。

観光としての狩猟地

青島は夏型の観光地であり、少しでもお金が落ちるように考えてほしい。冬は海が時化するため、遊びに青島へ来る人は珍しい。大洲猟友会にでも交渉して、ここへキジを数百羽放つて狩猟地にしたらよいと思う。

観光宣伝の方法

青島については、昭和五十三年に町で編集されたカラーチラシ「あおしま」があるが、絵ハガキがないのでぜひ印刷してほしいものである。五枚とか八枚とか組になっているものが多いが、バラ売りにした方がよい。欧米ではバラ売りが普通であり、バラ売りだと何枚でも買って、簡単な連絡やお礼状を書くのに使用するとよい。そうすると青島が、日本はもちろん海外にまで紹介されるであろう。

コミュニティ

活動の展開

自分たちの住む地域社会を、みんなの力で住みよくしていくという願いを実現することがコミュニティづくりの活動です。

したがって、何も特別に変わったことではなく、軽い気持ちで日常生活の中で、ごく身近な気付いたことから実行すればよいのです。その第一歩は、まず地域の人々が気安く挨拶し、ふれあい、話しあうことから始まります。出あい、ふれあい、結びあいの雰囲気づくりこそ最も大切なことです。

話しあいといっても、初めから特別に集まる必要はありません。街角でなんとなく立ち止まって共通の趣味などを語り合う中から芽生えるものです。

このように、なんでもないきっかけから具体的な活動へ移っていくのが、コミュニティ活動の特徴ですし、自然の姿ともいえるでしょう。

ところで、コミュニティ活動とはどんなものでしょうか。コミュニティ活動を大別しますと次の三種類に分けることができます。

その一つは、住民相互が交流を深めつつ地域での生活を皆で楽しみ、豊かな生活をめざす活動です。スポーツ、文化、教養、レクリエーション、地域のおまつり、盆おどり大会などを行なうことにより、住民同士が積極的に結びつく機会をつくる活動です。

二つめは、その地域の人々が、

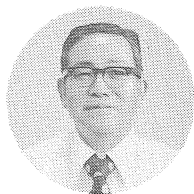
生活環境をよりよくしていくために、その地域の課題についてみんなで考え、協力し、解決へ導く活動です。ゴミ、し尿、交通安全、子どもの遊び場、防犯、防火、環境美化などの問題はひとりの力では解決が困難な問題です。一つの目的に向かって共に行動してこそ、はじめて連帯の心が生まれます。

三つめは、住民相互が助け合い、理解を深め合う活動です。一人暮らしや寝たきり老人、心身障害者のお世話、近隣同士の助け合い、あるいは、献血、救助など困っている人びとに援助の手をみんなが差



しのべることです。新しい地域社会の創造は、住民の温かい相互理解による助け合いが、その前提になります。

相互理解と強い協力精神で



コミュニティリーダー
宮 一 雄
沖 浦 (62歳)

昭和五十三年九月、コミュニティリーダーとして任命され、同年

十一月、長浜商工会へ勤務することになりました。

コミュニティリーダー任命後は、商工会会員の皆様との相互理解と信頼、強い協力精神が、商工業振興のため最も大切だと考え、二年間微力を尽くして参りました。

沖浦生まれの私は、観音様を中心に、お互いが信じ合い、團結することが大切であり、一同が助け合い、楽しく明るい沖浦とすることがコミュニティ活動だと思っています。

私も、昭和五十年九月総会で、鎌田、山田両氏と寺総代に選ばれ、就任以来五年半が過ぎました。その間、観音様の松山山展をはじめ、ご本尊京都国宝修理所での解体修理等任職共々大変心痛致しました。

昨年は、宝蔵庫を国、県、町のご協力と前代議士西田先生のご尽力により立派に完成致しました。例年四月十七日、沖浦観音祭りには、町内の皆様から過多のご厚志を頂き、有難く思っております。

当日は同宗の住職僧侶十数人揃って、春季観音大祭法要を催し、町民の家内安全、商売繁昌等を祈願して参りました。正午から餅まき、福まきを行ない、大勢の檀家、信徒の皆様と楽しい壮大な祭りを続けて参りました。これまでに、観音様の広大なご威光と町民の皆様への厚いご信仰のあらわれと信じています。

今後とも部落住民の方々へ広く話し合いを持ち続け、潤いのある、住みよく楽しい、健康な地域になるよう努力していきたいと考えています。

私の赤ちゃん

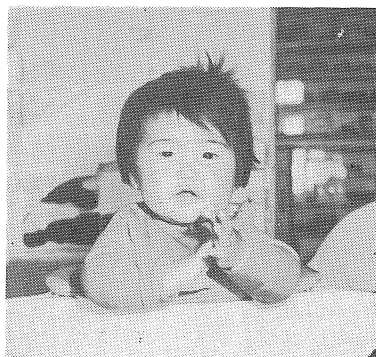
⑫



★赤ちゃんが生まれた時のご主人の第一声は…「希望どおりでよかった」

★名前ほどのようないわれでつけましたか…主人と私と友達三人で、かわいい子になるように「恵巨」とつけました。

★出産のときのエピソードは…最初の子供は帝王切開をして苦労したので、今回も覚悟していたので、不思議



上杉 恵巨ちゃん

(昭和55年 8月20日生まれ)

★初めてママになった実感がわいたのはいつ頃からですか…人見知りをして、母親をおいませす頃です。

★子どもが生まれ、ご主人が変なところ、外へ一人遊びに行くことが少なく、家で過ごすときはいつも子どもといっしょです。

★つぎの赤ちゃんの計画は…ありません。

★ご主人のパパになった弁…「子どものために、今まで以上にがんばらなくては」

★ほんとうは女の子がほしかったのですか、それとも男の子…

★ご主人の子ぼんのうぶりを紹介してください…主人は船の仕

パパ：上杉幸正 三十八歳
ママ：上杉孝子 三十八歳
(白滝)

夏は血液ピンチ

「愛の献血助け合い運動月間」

7月1日～31日



宇宙時代といわれる今日ですが、どんなに科学の粋をこらしても、まだ人工的に血液を造りだすことはできません。

病院で輸血を待っている患者さんに、いつときも早く血液を届けるには、すべて献血に頼るしかないのです。

七月は「愛の血液助け合い運動」が行なわれます。

昨年、献血にご協力いただいた方は、全国で六百万人を超え、年々助け合い運動の輪は広がっています。

二年目の冷夏が予想されるなかでの夏到来です。「夏バテを防ごう」とか「夏を元気で乗りきろう」と言われるように、夏という季節は何かと人間の体にこたえる時です。

体が暑さで参っているうえに、昼の時間が長いので活動時間がふえますし、食欲不振から栄養不足もひきおこします。また、暑さのため寝つきが悪くなりがちです。これらのことは、貧血している人にとって、いずれも悪条件ばかり重なることになりま



今年五月に町内各地(楯生、豊茂を除く)で

すが、例年、夏場は血液が不足する季節です。

これは、山や海などレジャーに出かける人や、帰省される方が多く、献血者が少なくなるからです。

また、夏の暑さも献血意欲を鈍らせるのでしよう。こうしたことから、夏場は、血液を必要とする患者さんにとってたいへん深刻な季節なのです。

電車の中で、お年寄りに席を譲るのと同じように、見ず知らずの人に自分の血液を無償で提供する

実施した老・成人病検診における貧血検査の結果、婦人の受診者五百二十一人のうち百四十一人(二七・一%)が貧血症と診断されました。つまり長浜町の婦人は、四人に一人の割合で貧血していることになりました。

食生活で改善を

貧血者の治療

貧血と一口に言っても、ごく軽い人から重い人まで様々です。何ともあれ、治療を始める必要のある人があれば、食生活を中心とした日常生活を改善することで良くなると思われる人もあります。そして貧血者の多くは、特に医師の治

—まさに尊い行為といつていいでしょう。あなたの血液が患者さんの心に生命の灯をともすのです。

●血液のはたらき

血液は心臓の働きで、血管を通じて体のすみずみまで、酸素、水、栄養分などを送ったり、炭酸ガスや老廃物などを運びだしたりする役目を果たしています。

また、筋肉活動で熱を全身に分配したり、血液中の水分は、熱の調節に役立つなど、私たちの体を守るため重要な働きをしております。

●血液の豆知識

☆血液と輸血：健康な成人の血液量は普通体重の約八%で、体を

療を必要としない人たちです。

医師の治療を必要としない人たちというのは、血液を造るための材料が不足しているために貧血したと考えられる人です。から、材料をしっかりと補ってやればよいのです。その材料は主に蛋白質と鉄分です。他に造血機能を高めるためのビタミン類も必要です。

そして、これらの栄養素を含む食品は、肉や魚、卵、牛乳、乳製品、レバー、緑黄色野菜、海藻などです。

検診の際に貧血していると言われた人は、夏にあたってこれらの食品を特に気をつけて、たくさん食べましょう。(保健婦・一宮)

ヘルスアイ(ヘルスアイ)とは「健康の目」

ひとめぐりするのには、ほぼ十八秒の速さでかめぐつていきます。

この血液の四分の一を失っても直接危険はありませんが、三分の一を失うと血圧が非常に下がり、二分の一を失うと生命が重大な危険に直面します。このような場合、生命を危険から救うため、輸血が必要となり、輸血は医学上重要な役割を果たしています。

☆血液は造れない：このような大切な血液は、医学、薬学が進んだ今日でも合成することはできません。したがって輸血が必要な時には尊い献血をお願いしなければなりません。

献血は、社会の連帯意識にたった隣人愛の発露でありましょう。献血は、人間にだけできる「生命の助け合い」です。

●献血の知識

☆献血に不安はありません：献血していただく場合、前もって医師の健康診断を行ない、健康と認められた人に献血をお願いしているので心配ありません。

☆献血のできる人は：次の条件にかなう人なら、誰でも献血できます。

- 満十六歳以上、満六十五歳未満の人
- 体重が男子四十五キログラム、女子四十キログラムを超える人
- 血液の比重が一〇五二以上の入
- 最高血圧百ミリ以上の入
- 前回の採血から原則として一か月以上たっている人
- 過去六か月以内に妊娠したことのない人

●過去に黄だんにかかったことのない人

●その他、現在病気ににかかっていない人

☆一回の献血量は二百ミリ：二百ミリ以上の量は人体の全血液量の約二十分の一ですから、健康上支障はありません。血液の量そのものは採血後二〜三時間で回復し、赤血球は一〜四週間で完全に回復しますので健康上なら問題ありません。

☆採血に要する時間は、わずか三〜五分です：次の順序で採血します。受付↓検査・測定↓診察↓採血↓献血手帳交付

●検査サービ

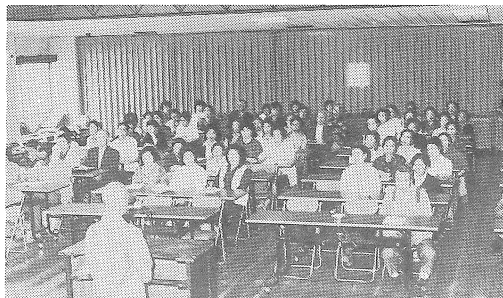
採血された血液は、血液型のほか①梅毒検査②筋疾患、肝炎などの検査③糖尿病、胆道閉塞などの検査④蛋白質の代謝状態の検査⑤腎機能の検査などを行ないますので、成人病などの健康管理に役立ちます。

長浜町に七月二十三日、移動献血車がやってきます。愛の献血にご協力ください。

●鉄道妨害防止運動にご協力を

夏休みに入ると、子どもたちが線路で遊んだり、石や物を置くといったことが増えてきます。このようにないたずらをするのは、小学校に入る前の幼児や小学生がほとんどです。鉄道線路は大変危険ですので遊ばせないようにしましょう。

野草・薬草講習会 「健康づくり推進協議会」



六月三日、町体育館において健康づくり推進協議会主催の野草・薬草講習会が開かれた。およそ百人の方が参加して、小川儀三郎さん、本田重太郎さん、岡野勝敏さんの野草・薬草を生活にとり入れた体験談を聞いたあと、野草を使った料理を試食して健康づくりを呼びかけた。

白滝中継局が開局 「南海・愛媛放送」



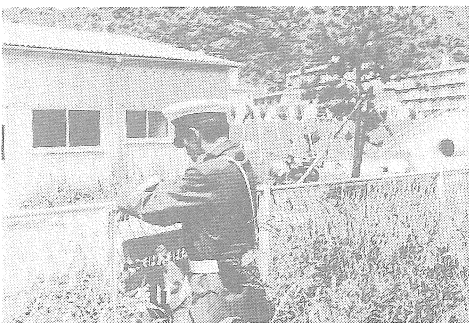
南海・愛媛放送が共同施行で白滝中継所を建設し、五月二十九日、開局を記念して、神事と式典が行われた。これは、白滝の大戸山に建設されたもので、受信チャンネルは南海放送が58、愛媛放送が56、受信アンテナは、Uアンテナの垂直型を使用のこと。



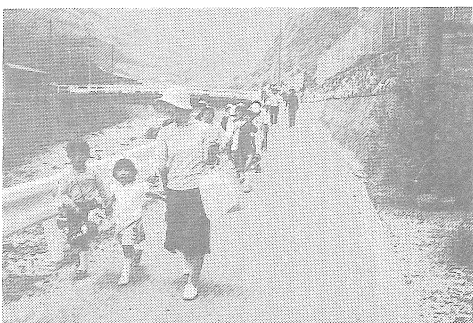
子供を事故から守ろう ～夏休みを前に～

点検を行ない、危険か所を指定したもの。

六月八日、夏休みを前にして子供を事故から守るために「危険な場所」で遊ばないよう呼びかけるハタを設置した。これは以前に長浜警察官派出所、教育委員会、防犯協会、長浜小、長浜中学校の代表者が



歩け歩け大会 「大和愛護班」



五月晴れの五月十日、下須戒の郷、下成、新造替地の愛護班では、親子あわせておよそ六十人が参加して、歩け歩け大会が開催された。大和公民館を出発して、ここちよい汗をかきながら住吉公園まで歩き、そこでみんなでおいしく弁当を食べて楽しいひとときを過ごした。

学校めぐり ⑫

長浜高等学校

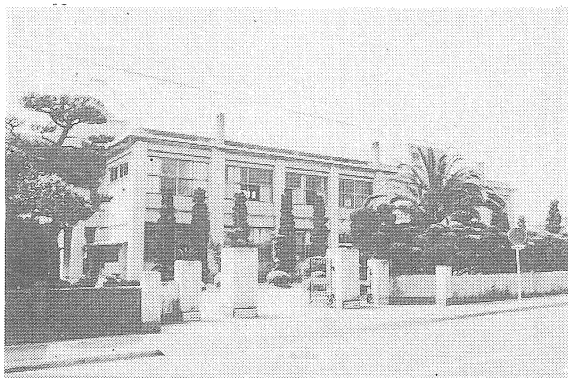
脇川の河口、伊予灘の海鳴りを窓迎に聴く長浜高校は、昭和五十四年、創立四十周年を迎え、各種の記念行事が盛大に催されました。

校史をひもときますと、前身長浜家政女学校は、昭和十五年の創立であり、以来、長浜高女、長浜高校と歩んで来たわけであり、一見、平凡な歴史のようであり、戦後の激動の嵐の中を長く耐え、たくましく成長を続けました。

それは、昭和五十三年の特別教棟落成に至る校舎建築事業ひとつを見ましても、ご理解いただけると思えます。もちろんそこには、県当局、とりわけ地元の方々のご支援があったことを見のがすことはできません。

このように四十年の年輪を数える本校は、卒業生数約五千、ここに培われた校風は、一言にして表わすならば「質実剛健」といえます。それは強健な身体に内包する、物事にこだわらぬ雄大な気風であり、荒磯に碎ける波濤をも思わせるたくましさでもあります。帽章の三枚の柏の葉と波頭は、これらの校風の象徴であります。

ところで現在、本校の生



徒数四百八十人、長浜町を中心に北は双海、東は大洲、南は遠く保内町からの通学であり、これらの生徒の中に伝統と校風は脈々と受け継がれているわけであり、まず、反面、生徒数定員の減少、基礎学力を伸ばさせ、基本的な生活習慣を少しでも多く身につけさせる問題等、数多い悩みもあります。しかし、一昨年度着任され、「英知」「互敬」「錬成」の校訓を制定した大内校長を中心に全教職員一丸となつて、これら諸問題に取り組む、地域社会の要望に応じた有為な青年の育成に懸命に努力しています。

校門の横、長浜の先覚者西村兵太郎氏は、本校を背に力強く守つておられる感じがします。地元の皆様におかれましても、本校の目指すところを十分におくみとりいただきたいと思います。

表彰・お知らせ

ご協力ください

来る七月一日には、全国いっせいに事業所統計調査が実施されます。



7月1日 事業所統計調査

この調査は、三年ごとに行なわれているもので、今回の調査は十三回目にあたります。

調査の結果は、国や地方公共団体などにおける各種行政施策の基礎資料として、また事業所を対象とする各種調査の基礎資料として多方面に利用されています。

六月下旬から調査員が事業所を訪問して、調査票の記入をお願いいたしますので、調査にご協力ください。

この調査は、三年ごとに行なわれているもので、今回の調査は十三回目にあたります。

調査の結果は、国や地方公共団体などにおける各種行政施策の基礎資料として、また事業所を対象とする各種調査の基礎資料として多方面に利用されています。

六月下旬から調査員が事業所を訪問して、調査票の記入をお願いいたしますので、調査にご協力ください。

夏の防犯運動

7月1日～7月31日

地域ぐるみで非行防止を

最近、少年非行は急激に増加し、県下では過去十年間の最高の数となり、非行の内容も悪質化、多様化するなど憂慮すべき状況にあります。

このため今年も地域の関係機関が一体となって、非行防止に関する自覚を高め、地域ぐるみの非行防止活動を展開していこうとするものです。

〔青少年をもつ家庭では〕

●親子の対話を

●子どもにも善悪のけじめができるしつけを

●子どもを放任しない

〔地域では〕

●非行を誘う環境をなくす

●非行を見逃さない目を

●有害環境に目をむける

●きびきびとやさしさが育てる明るい子

表彰***

県シイタケ共進会

林野庁長官賞に

田中晋さん

愛媛シイタケの生産性向上と、消費拡大をめざして、五月二十日、愛媛県稚荊まつりが愛媛県民館で開かれ、生産者大会や共進会が行なわれました。

共進会では、須沢の中田晋さんが林野庁長官賞に入賞するなど、次の方々がそれぞれ入賞し、表彰されました。

一般もの

こうしんの部

〔林野庁長官賞〕 田中晋(須沢)

〔二等賞〕 加納勝利(須沢) 〔三等賞〕 藤田阪喜(豊茂) 〔奨励賞〕

上田虎雄(豊茂)

どんこの部

〔二等賞〕 武地喜佐雄(豊茂)

箱もの

こうしんの部

〔努力賞〕 鎌田重喜(豊茂)

どんこの部

〔努力賞〕 菊地啓太(豊茂)

楳木育成

〔努力賞〕 叶岡広志(上老松)

大田亀三郎さん

教育振興に功績



長浜十四区の長浜十四区の大田亀三郎さん。モスは、愛媛県の教育の振興ならびに本連合会の発展に功績があったことにより、六月三日、八幡浜の市民会館で開かれた県市町村教育委員会連合会定期総会の席上、深井辰男同連合会会長から表彰されました。

坂井弥八郎さん

国勢調査に功績



柴百四十六区の坂井弥八郎さん。昭和三十五年(昭和五十五年)に実施された国勢調査の事務に精励され、その成績が優秀であったことにより、三月三十一日、鈴木善幸内閣総理大臣から表彰されました。

第8回サツキ展

菊地俊正さん

銘花の部で長浜町長賞

第八回サツキ展が五月二十九日、三十日の二日間、中央公民館で開催され、およそ百五十点が展示、約千人が鑑賞しました。入賞者は次の通り。

〔町長賞〕 銘花の部 菊地俊正

〔下須戒〕 〔教育委員長賞〕 小型の部 白石賢次(楳生) 〔教育長賞〕 小品の部 新友春(長浜) 〔中央公民館長賞〕 大木の部 吉田秋雄(長浜) 〔議長賞〕 根上がりの部 田淵金定(下須戒) 〔観光協会賞〕 古木の部 河内通泰(楳生) 〔商工会長賞〕 若木の部 泉伯(白滝) 〔同好会長賞〕 県産の部 田中政雄(仁久)



町長賞に輝いた菊地さんの作品

土居さんら87人

永年勤続従業員

次の方々は、町内の企業において永年(二十年以上)勤続し、町の産業発展に功績があったことにより、五月二十一日、町体育館で開かれた長浜町商工会設立二十周年記念大会の席上、二宮重憲長浜町長、松田弥生商工会長からそれぞれ表彰されました。

町長表彰

土居吉春、佐野忠義、福田元雄(以上松田材木店) 中岡ミヤ子(黒川木材工業) 木原梶雄(喜多鉄工所) 矢野藤四郎(岸本商店)

商工会長表彰

村上六海(上田鉄工所) 山口道男、上田家道、岡道英一、平田好作、岸本才一、亀岡義孝、坂井道

之(以上岸本商店) 浦上茂夫、谷田満弘、渡辺高次(以上門田組)

高岡伸好、徳永秀光(以上富永金物店) 金平範尾、清水功、大橋繁一、大橋ムツ子、宮本稔一(以上長浜木履工場) 谷田貞俊(めいせき商会) 成田昇子(黒川木材工業)

清水誠、武田唯常(以上伊予自動車工業) 山本久行(寺岡自転車店)

石丸平、石井正隆(以上松田材木店) 大野清三郎(石岡家具店) 富永留吉、鎌田久夫、渡辺都卓、渡辺正勝、新納建幸、大野倉義、山本安幸、山田幸子、久保花子、曾根保、渡部正俊(以上一宮工務店)

本田高博、中村一正、大本覚、鈴木岩夫(以上清水建設) 川田文男、小川良男(以上西田興産) 島田利雄、島田好政(以上島田造船) 西内義秋、亀井道夫、戎子フサエ(以上村上工務店) 佐々木武育、菊地宗男、津田年一(以上佐々木組)

菊地達雄、福田徳栄(以上林製材所) 徳山三幸(上一コンクリート工業) 大山岩弘、谷渚正弘、大津嘉幸、大津道忠(以上伊予海運)

久保英子、大西幸八(以上安西商事) 奥島幸雄(長浜陸運) 浜江栄治郎、鎌田忠(以上喜多製餅所)

久井貞治郎、平田勝男(以上伊予建設工業) 島田益太郎、竹岡都良(以上協和運送店) 山田通子(愛媛オカライト工業) 片岡はつ子、矢間久美(以上片岡木工所) 谷本利夫(渡辺興業) 牧野紀代美(広島銀行) 上田弘志、高崎シズエ、鶴崎ハルヨ、晴清次郎(以上長浜木工所) 岡田輝美子、西山圭子、水本満子、梁田マズ子(以上稲田木工) 湊隼人(池内石油店)

募集

愛媛県警察官(大学卒)

愛媛県警では、警察官(大学卒)を募集しています。【受験資格】昭和29年4月2日から昭和35年4月1日まで卒業見込みの者。【受付期間】昭和56年6月25日から7月24日まで。【試験日】8月2日(日) 詳しいことは、最寄りの警察署または派出所・駐在所でお問い合わせください。

寄付

○故大原岩松さん代理・黒田の徳田仲雄さん(五才)：ポータブルビデオセット(五〇万円)を老人ホーム白山園へ。○松山市のNHK松山中央放送局長・宮武章三さん：ポータブルビデオセットを老人ホーム白山園へ。



歳時記の7月をめぐる▲月半ばには梅雨も明けて、日射がたっぷり気温は急にのぼる。涼風とともに雷が鳴り、夕立ちがくる。海水浴、登山がいつせいに始まり、盛夏のたくましさは頂点に達する▲大暑・酷暑・炎暑・炎昼・炎天・熱砂・熱風・油照・旱天等々暑い暑い▲そこで明治38年(76年前)7月発行の俳誌「シブキ」をあけてみた。編集者西村笑波の句が並んでいる。西村兵太郎21歳の作品である。

夏帽や芦間に釣をたるる人 日に向て小さき虹吐く泳かな 泳ぎつつ長き糞ひく金魚哉 暑き日や酒袋干す浜の道 夏帽にテニスの人や色黒き ▲のんびりした長浜の夏の風景である。せっかちで、目先のことばかりに苛々している昨今、少し間を置いて落ち着きをとりたいものである▲「赤い夕日が沈んで暮れりゃ沖の漁火ちらちらと」なる頃、長浜開閉大橋と新長浜大橋に脇川嵐が川上から吹きはじめる▲心地よい風を満喫しながら橋に立って町の将来像を考えてみた。じりじり貧乏のままで安閑としていてはなるまい。浜っ子の根性を見せたいものだ。脇川嵐は昔も今も、そして将来も、根性の風を吹き続けるだろう。 逍遙す夕日の浜や夏帽子 笑波

住所氏名 婚姻届時年齢 黒田 清高 秀子 (三三) 長浜 高野 茂 (二二) 沖浦 久保 信彦 (二二) 柴 由美子 (二二)



5月長浜町役場届出分(敬称略)



5月のトップは 高野茂・秀子さんのカップル

結婚

○長浜小学校昭和五十五年度卒業生一同：オーバーヘッドプロジェクト エクター一台を長浜小学校へ。

○下須戒九十五区の渡辺スミエさん(七〇)：時計つき絵画を大和小学校へ。○大洲市の喜多郡教科図書販売株式会社代表・森岡勇さん：折りたたみ式キヤツツ三台を長浜小学校へ。○長浜小学校昭和五十三年度および五十四年度卒業生一同：デイトラストスクリーンを長浜小学校へ。

住所氏名 死亡時年齢 長浜 西崎 ムラ (八二) 沖浦 越智 艶子 (六二) 長浜 石川 フクヨ (八二) 出海 土井 時政 (八二) 白滝 岡本 ミツル (七二) 住所氏名 死亡時年齢 大西 ミサヲ (八一)

おくりやみ

5月届出分(敬称略)

住所氏名 続柄 児名 下須戒 上田 三好 長男 一休 榊 増田 君生 長男 智樹 榊 坂田 明彦 三女 綾

お誕生おめでとう!!

5月届出分(敬称略) 豊茂 菊地 朋子 (二三) 今坊 藤田 秀雄 (二三) 松山市 西岡 一枝 (二六) 大洲市 宮内 栄子 (二七) 上老松 二宮 和子 (二四) 長浜 朝日 美代子 (二〇) 長浜 藤原 利宏 (二〇) 双海町 大野 幸枝 (二七) 下須戒 小西 哲行 (二九)



電信電話債券元利金の受け取りをお忘れなく

お手持ちの債券が満期になっていないかお調べください。長浜局開局当時にお引き受けになった債券は、償還期限がきております。償還期日以降は利息がつきませんので、償還金はお早めにお受け取りください。長浜電報電話局も、みなさんのおかげで開局10周年を迎えました。今後ともよろしくお願ひします。 伊予長浜電報電話局 TEL 2-0000 番

下須戒 亀岡 ミサヲ (九二) 長浜 近藤 佳次 (七四) 柴 山下 キヌ (八八) 榊 武田 シズエ (八五) 豊茂 菊地 スエカ (八〇) 下須戒 大石 藤蔵 (七八) 沖浦 細川 タツコ (五〇) 仁久 清水 喜一 (七八)

編集後記

むし暑い夏はもうすぐ。ルームエアコンを新しくご使用になるときは、すえ付け工事や配線工事が必要となりますので、早めに申し込んで、涼しい夏を過ごしたいものです。

七月七日は七夕。この夜は、川の川を隔てた織女と牽牛が、年に一度のデートを楽しむと伝えられており、万葉集にも歌われています。七夕祭りのような風習は、いつまでも失いたくないものです。六月十日、内子町の広報編集委員さん九人が来町され、広報活動や有線放送についていろいろと意見交換をしました。六月号「電々コーナー」でお知らせした大和公民館の電話番号は、二二八三二でした。訂正しておわび申し上げます。

人口世帯数

楽しく住みよい町、豊かで働きがいのある町 美しい人情と文化の町をつくり、人口をふやしましょう

Table with 3 columns: Category, 6月1日現在, 前月との比較. Rows: 人口 (12,896人, 40人増), 世帯数 (3,886世帯, 4世帯増)

